

組合だより

【 第 2 5 7 号 平成 2 7 年 1 1 月 日本羊腸輸入組合 】

一般的に業界団体の役割は、行政機関や一般消費者と会員企業を繋ぐ窓口としての機能、企業個別での対応では限界のある共通問題を解決するためのとりまとめ機能、技術の標準化や自主ルール作りの調整機能、会員企業への情報提供や研修会の開催、ユーザーへの広報活動等々、幅広いものがあります。

当組合にあてはめ一言にまとめれば、「天然腸輸入業界及び会員企業の健全な発展に資するための役割」と言えますが、山羊・羊のBSE対策の見直しという共通問題や世界標準といえる消毒方法への対応、更に組合ホームページ・会員ページを通じた様々な情報提供に取り組んでいます。

ホームページには、11月25日（水）に開催する「人材育成研修の御案内」も掲載しております。業界全体の発展のための基礎作りである人材育成研修は、これから更に拡充して取り組むべきものと考えます。

理事会や委員会メンバーに限定せず、組合員社員の全員を対象として募集する今回の研修は、平成26年2月に内外市場調査・弘報委員会が主催した海外市場等に関する勉強会に続くものです。

大変お忙しいとは思いますが、多くの皆様が御参加くださいますようご案内いたします。

1. 組合の活動報告

○10月21日 平成27年度第3回理事会

組合事務所会議室において、今年度上半期の収支報告、INSCA Semi Annual Meeting 出席報告、人材育成研修の実施内容等について、報告・審議を行いました。

○10月21日 平成27年度第2回内外市場調査・弘報委員会

組合事務所会議室において、2016年カレンダーの内容、来年度食肉産業展への出展方法、海外市場調査団派遣等について、検討しました。

○10月28日 平成27年度第2回検査委員会

成田検査所において、検査所の視察を踏まえた施設改善策、衛生管理システムの最終確認、保存試験の実施等について、検討しました。

○輸入統計等の情報提供

【財務省通関統計】

平成27年9月の天然ケーシングの総輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 337.6 t (前月比△5.7 t、△1.7%/前年同月比△34.2 t、△9.2%)

- ・中国原産 254.7 t (// +50.8 t、+24.9% / // +49.6 t、+24.2%)
- ・豪州原産 61.8 t (// △32.6 t、△34.5% / // △69.2 t、△52.8%)
- ・NZ原産 19.0 t (// +1.4 t、+ 7.7% / // △ 6.9 t、△26.5%)

【組合受付統計】

平成27年10月の組合受付数量は、次のとおりです。

- ・受付数量 合計 816,452 ハクス
(前月比 △ 1.5 千ハクス、△ 0.2% / 前年同月比 △ 44.3 千ハクス、△ 5.1%)
- *詳しくは組合ホームページをご確認ください。

2. 検査所だより

【横浜検査所の動向】

- ①インフルエンザ及びノロウイルスの予防のため、うがい等の励行とインフルエンザ予防接種を受けるよう周知しました
- ②10月の受付数量は766,068ハクスと前月に比べて36,200ハクス減少し、前月比95.5%となりました。
- ③10月の消毒数量(横浜検査所)は363,394ハクスで、前月に比べ15,151ハクス減の消毒数量でした。
- ④10月の成田転送は、6件102,000ハクスを行いました。
- ⑤消毒終了予定
消毒貨物が順調に搬入された場合の消毒終了予定は、平成27年12月4日(金)です。
注：消毒予定の順番は、当分の間、搬入期日が決まった順に消毒することにしていきますので、消毒終了予定が受付番号順と異なることがあります。
- ⑥10月の受付数量、消毒数量、成田転送状況は、次のとおりです。

区分	前月の繰越分	受付数量 (船便)	消毒数量			成田転送数量	翌月への繰越分
			横浜	新山下	小計		
羊腸	852,818	731,468	363,394	272,586	635,980	100,000	848,306
豚腸	26,500	34,600	0	13,400	13,400	2,000	45,700
計	879,318	766,068	363,394	285,986	649,380	102,000	894,006
牛腸	0	0	0	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸：ハクス、牛腸：Bundle)

【新山下検査所の動向】

- ①菊薫る季節となり、朝夕は一段と冷え込む日が続いております。
秋から冬にかけてのインフルエンザの流行に備え、予防接種等を行い感染防

止、体調管理に努めて職員一同業務に励んでおります。

② 10月分の受付数量及び消毒数量は、下表のとおりです。

種別	前月の繰越分	受付数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	30,556	297,330	272,586	55,300
豚腸	0	13,400	13,400	0
計	30,556	310,730	285,986	55,300
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸：バックス・牛腸：Bundle)

【成田検査所の動向】

- ① 10月の航空貨物の受付数量は50,384バックスで、久しぶりに5万バックスを超えました。
- ② 10月28日、成田検査所において今年度第2回検査委員会が開催されました。
- ③ 10月28日、動物検疫所成田支所天浪検疫場において畜霊祭が開催され、所を代表して秋葉消毒職が参列致しました。
- ④ 10月分の受付数量及び消毒数量は次のとおりです。

種類	前月からの繰越	受付	消毒数	翌月への繰越	
航空	羊腸	0	50,384	40,384	10,000
	豚腸	0	0	0	0
	合計	0	50,384	40,384	10,000
船舶	羊腸	0	100,000	73,000	27,000
	豚腸	0	2,000	0	2,000
	合計	0	102,000	73,000	29,000
合計	羊腸	0	150,384	113,384	37,000
	豚腸	0	2,000	0	2,000
	合計	0	152,384	113,384	39,000

(単位：羊・豚腸：バックス、牛腸：Bundle)

3. 今後の主な予定

- 11月 2日(月) 設立記念臨時休業
- 11月 25日(水) 人材育成研修(於、アリアル五反田駅前会議室)
- 12月 9日(水) 第3回内外市場調査・弘報委員会
- 12月 11日(金) 第4回理事会

以上